

◆副委員長（西山信昌）

白血病などの治療のため、骨髄移植を受けた患者の方は、移植以前にワクチン接種によって獲得した免疫が失われてしまうことから、再接種を受ける必要があるということでもあります。ところが、その費用を自己負担しなければならないということでありましたけども、現在、関連の法制度がどのような形になっているのか、改めて確認させていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

◎医療衛生推進室長（中谷繁雄）

予防接種でございますけれども、まず個人の疾病予防という意味はございませぬけれども、それ以外にも感染症のまん延を防ぐというそういう観点から、必要なものにつきましては予防接種法の中で定期接種という風に位置付けられまして、一定の年齢までに接種をすること、これは努力義務でございますけど、義務付けがございませぬ。その義務付けをされているという裏返しといたしまして、費用は公費負担でやりましょうということ、また健康被害が万が一起った場合には、それ専用の救済制度を設けておきましょうというような仕組みがございませぬ。

定期接種の公費負担でございますけれども、これは接種義務のある人について、接種の機会を平等、公平に確保していこうというような趣旨でございませぬので、一旦受けてしましますと、これ、再接種する場合には、公費負担の対象外という風になってまいります。また、健康被害の救済制度もございませぬけれども、定期接種とは別のものが適用されるということになっております。

また、予防接種は病気の治療ではございませぬので、健康保険の対象外となるということで、この再接種に要する費用というのが、全額自己負担となってしまうというような、そういう状況でございませぬ。

以上でございます。

◆副委員長（西山信昌）

ありがとうございます。

急性骨髄性白血病によりまして、骨髄移植を受けられたお子さんの保護者の方から御相談がございましたけども、再接種に要する費用負担がどの程度になるのかについて教えていただけますでしょうか。

◎医療衛生推進室長（中谷繁雄）

この定期接種でございますけれども、一般的なスケジュールで言いますと、小学校の大体卒業までに、麻疹、はしかですとか、風しんですとか、12感染症がございます。それに対する9種のワクチンを合計で25回接種をすることになります。これ、全て再接種をいたしますと、自己負担の総額、これはお医者さんによっても違うんですけれども、20万円を超えるぐらいになるという風に見込んでいらっしゃるところでございます。

以上でございます。

◆副委員長（西山信昌）

ありがとうございます。

今、御答弁いただきました25回で、しかも費用的にも20万円ということで、病気を抱えられたお子さん、またその保護者の方にとっては、非常に肉体的にもそうですし、経済的にも非常に厳しい負担となっているという状況と思われまます。そういったことから、負担軽減を切実に求められる声もあるわけですが、この辺についての対策はいかがお考えでしょうか。

◎医療衛生推進室長（中谷繁雄）

前回の委員会でも御説明をさせていただきましたけれども、残念ながら、現在の本市におきましては、公費による負担を軽減する、あるいは公費負担というような制度がございません。こういう立場におかれましてお子さん、それから保護者の方、非常に厳しい状況であるということは十分承知をしておりますけれども、再接種の必要性など、これは主治医の先生が御指導されるわけですが、個別性が非常に高いということ、それから、健康な方に比べると、やはり予防接種による健康被害のリスクというのにも高いというような状況もございますので、本市といたしましては、国にも相談はしておりますけれども、国の動向などを見守っているところでございます。

以上でございます。

◆副委員長（西山信昌）

先日、名古屋市では、我が党の議員の質問に対しまして、公費負担の検討を開始するとの答弁があったということでございます。既に、独自の公費負担制度を設けている自治体もあると聞いておりますけれども、その辺についてはいかがでしょうか。

◎医療衛生推進室長（中谷繁雄）

先生御指摘のとおり、名古屋市の方では、できるだけ早く実施をしていこうということで、検討を進める意向を表明されたという風に聞いております。あと、指定都市でございますけれども、新潟市が今年の8月から公費助成の制度を実施していると聞いております。あと、関西圏でございますと、三重県の四日市市ですとか、あるいは大阪府の枚方市で公費助成制度があるという風に聞いているところでございます。

以上でございます。

◆副委員長（西山信昌）

指定都市レベルでも、助成制度を設けるという動きがあるということであるということであれば、本市としても、他都市事例の情報収集や研究などに取り組むように、私どもとしてもしっかりと要望してまいりたいと思います。

最後に、この点について所見をお伺いして終わりたいと思います。

◎医療衛生推進室長（中谷繁雄）

御指摘踏まえまして、今後、他都市の状況、事例について情報収集、あるいは分析というのを努めてまいりたいと考えております。

以上でございます。